

(4) 年間計画の様式—保健体育年間計画
(この様式は、昭和26年3月に考案し、「中学校体育」第2号ベースボールで発表した)

月		行事		分野																	
学年		性別		週																	
時間		1		2																	
体	1	M	1	徒手	陸上	バレーボール	器械運動	知	水泳	徒手	陸上	ソフトボール	器械運動	剣道	バスケットボール	知					
			2	知識②	上	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	⑨	⑨	⑩	②				
			3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦			
		W	1	知識②	徒手	ダンス	陸上	ソフトボール	知	水泳	徒手	ダンス	陸上	バレーボール	器械	器	バスケットボール	知			
			2	②	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦		
			3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦			
	2	M	1	徒手	器械	バレーボール	陸上	知	水泳	徒手	陸上	器械	バスケットボール	知	徒手	バスケットボール	知				
			2	②	⑤	⑦	④	③	⑥	②	②	⑧	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧			
			3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦			
		W	1	徒手	陸上	ダンス	知	水泳	徒手	ダンス	陸上	バレーボール	器械運動	バスケットボール	知	徒手	バスケットボール	知			
			2	②	⑧	⑥	③	⑦	②	⑥	④	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧	②			
			3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦			
3	M	1	徒手	陸上	バレーボール	知	水泳	徒手	陸上	器械	バスケットボール	知	徒手	バスケットボール	知						
		2	②	⑧	⑥	③	⑦	②	⑥	④	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧	②				
		3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦				
	W	1	徒手	ダンス	知	水泳	徒手	ダンス	陸上	バレーボール	器械運動	バスケットボール	知	徒手	バスケットボール	知					
		2	②	⑧	⑥	③	⑦	②	⑥	④	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧	②				
		3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦				
保	2	M	1	徒手	ダンス	知	水泳	徒手	ダンス	陸上	バレーボール	器械運動	バスケットボール	知							
			2	②	⑧	⑥	③	⑦	②	⑥	④	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧	②			
			3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦			
	W	1	徒手	ダンス	知	水泳	徒手	ダンス	陸上	バレーボール	器械運動	バスケットボール	知								
		2	②	⑧	⑥	③	⑦	②	⑥	④	⑩	⑧	②	③	⑩	⑧	②				
		3	④	⑥	⑧	⑩	②	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦	③	⑪	⑦				
傷害や事故災害の防止 ⑩																環境の衛生 ⑪		心身の発達と栄養 ⑨		疲労と作業の能率 ⑤	
病気の予防 ②⑩																精神の衛生 ⑦		国民の健康 ⑧			

(1) 運動教材の時間配当表

項目	学年	性別	1		2		3	
			M	W	M	W	M	W
徒手体操			9	9	5	5	6	6
器械運動			19	15	13	10	12	10
陸上競技			20	14	14	11	14	10
剣道			9	—	6	—	6	—
バレーボール			8	12	7	10	8	10
バスケットボール			10	10	8	10	8	10
サッカー			10	—	7	—	6	—
ソフトボール			7	9	—	—	—	—
水泳			7	7	6	6	6	6
ダンス			—	23	—	14	—	14
体育の知識			6	6	4	4	4	4
計			105	105	70	70	70	70

(2) 体育の知識の時間配当表

項目	大項目	時間	小項目	時間
1	I 運動の練習	6	1. 運動種目の特色と選び方	2
			2. 練習の必要と練習上の注意	2
			3. 練習の方法	1
			4. 運動生活の計画	1
2	II 運動の効果	4	1. 運動の身体的効果	2
			2. 運動の精神的効果	2
3	III 生活と運動	4	1. 競技会	2
			2. 運動によるレクリエーション	

(3) 保健学習の時間配当

項目	2 年		3 年	
	時間	項目	時間	項目
1. 傷害や事故災害の防止	10	1. 病気の予防	20	
2. 環境の衛生	11	2. 精神の衛生	7	
3. 心身の発達と栄養	9	3. 国民の健康	11	
4. 疲労と作業の能率	5			

を行なった方が効果的である。

・特別教育活動や学校行事との関連を考える。

⑤ 体育の知識、ダンスの時間配当は、出来るだけ少なくする。

(4) 体力づくりについては、年間計画の中に位置づけない。近代トレーニングの原則などをふまえて補強運動の形で年間計画の中に位置づける場合もあるが、本校では運動種目の特性を生かしながら体力づくりをする立場をとる。そのため計画は、一単位時間の計画に位置づける。

以上の方法に従って、前の表に◎、○、△を位置づける。それによって時間配当を行なう。

4. 時間配当を行なう

(1) 運動教材の時間配当をする。計画作成の基本方針に従って、前記の表◎、○、△の位置づけを考えながら全体のバランスを考えて時間を表(1)のように配当する。

(2) 体育の知識のまとまりと時間配当をする。表(2)を参照。

(3) 保健学習の時間配当をする。表(3)を参照。

5. 年間計画の様式をきめ、教材を配当する

(1) 年間計画の様式。とくに定められたものはないが、もっとも使いやすいものがよい。表(4)参照。

(2) 教材を配当する。計画の作成にあたって学校の独自性、主体性が生かされるのはこの配列の問題である。ここでは体育学習について考えられる事項をあげてみたい。

- ・教材の難易度を考える。学習内容の系列は、易から難へ、基礎的なものから応用的なものへと編成されている。1年の場合、小学校との関連を考慮する。
- ・施設用具を考える。男女の種目を同一時期に行なわないで実施の時期をずらす。
- ・季節を考える。運動は季節に関係が深い。バレーボールを冬季に実施するよりもサッカー